



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月12日

上場会社名 中本パックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7811 URL <https://www.npacks.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河田 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 芦原 隆行 TEL 06-6762-0431
 四半期報告書提出予定日 2022年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	30,487	14.1	2,057	47.9	2,245	58.0	1,300	17.9
2021年2月期第3四半期	26,711	3.9	1,391	16.1	1,421	14.9	1,102	31.2

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 1,610百万円 (39.4%) 2021年2月期第3四半期 1,155百万円 (56.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	159.14	—
2021年2月期第3四半期	134.94	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第3四半期	34,049	15,355	41.1	1,714.52
2021年2月期	31,784	14,222	40.9	1,590.02

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 14,011百万円 2021年2月期 12,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	28.00	—	29.00	57.00
2022年2月期	—	29.00	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	—	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	9.6	2,330	35.8	2,500	42.8	1,470	11.7	179.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	8,173,320株	2021年2月期	8,173,320株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	1,067株	2021年2月期	1,067株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	8,172,253株	2021年2月期3Q	8,172,284株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況で推移いたしました。10月に緊急事態宣言が解除されて以降は行動規制も緩和され、経済活動が徐々に再開しているものの、新たな変異株の発生などにより先行きは依然不透明な状況が続くと見込まれます。

このような状況の下、「改質エコ技術でパッケージングの世界を変える Nブランド製品の拡販と環境経営の推進、原点回帰でお客様満足度を最大化する」をスローガンに、環境への負荷を低減できる開発製品の販売、製品の安定供給、原価低減、生産効率・品質の向上に注力いたしました。また、PETシート押出ラインの稼働開始やベトナムでの工場立上げのほか、敷地や環境規制の関係で拡張が難しくなっていた廊坊中本包装有限公司の生産機能を滄州中本華翔新型材料有限公司に移管するなど、生産拠点の再編・最適化も進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は30,487百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益は2,057百万円（同47.9%増）、経常利益は2,245百万円（同58.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,300百万円（同17.9%増）となりました。

製品用途別の経営成績は次のとおりであります。

(食品関連)

底堅い中食・内食需要により冷凍食品・乳製品・総菜用などのスーパーマーケット向け包材、汎用性の高いテイクアウト・デリバリー用の容器・トレー向け商材、農産物向けフードパックなどが堅調に推移しました。また、コンビニ関連では容器成型加工が増加したこと、デパ地下向け商材も一部で回復の兆しが見えたことにより、売上高は19,558百万円（前年同期比8.5%増）となりました。利益については、生産効率改善効果や関係会社の利益率向上により、売上総利益は2,399百万円（同22.6%増）となりました。

(IT・工業材関連)

クリーンルームでの各種フィルム・金属箔への機能性付与技術を活かした半導体・電子部品の製造工程用フィルムやそれらのパッケージ材料向けが、ハイエンド端末・通信インフラ・クルマの電装化などの分野向けで増加しました。また、モバイル端末・ディスプレイ関係の受託加工案件や、自社開発品のNSセパを中心に離型フィルムも日本および中国で堅調に推移したほか、印刷方式を用いた各種開発案件、次世代電池・基板などの試作案件も増加した結果、売上高は4,259百万円（前年同期比23.7%増）、売上総利益は1,338百万円（同35.1%増）となりました。

(生活資材関連)

コロナ禍で在宅時間が増加する中、家庭での調理時間・工程削減に貢献するまな板シートやキッチンマットなどの新商品が好調に推移したことにより、キッチン・衛生関連が大幅に増加しました。また、圧縮袋関連は新規取引先獲得とテレビショッピング好調により増加、DIY・インテリア・エコ関連では窓の断熱シート「マドピタシート」など季節ものの商材が好調に推移した結果、売上高は3,270百万円（前年同期比38.2%増）、売上総利益は1,053百万円（同33.3%増）となりました。

(建材関連)

家具関連は加工基材の不足による影響で受注が減少しましたが、住宅関連では戸建て・集合住宅向けの機能性建材が順調に推移した結果、売上高は1,448百万円（前年同期比17.9%増）、売上総利益は224百万円（同28.3%増）となりました。

(医療・医薬関連)

病院関連では輸液関係包材が堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス関連で防護服の公募が無かった影響により減少しました。貼付剤関連では取引先における当社製品採用アイテムの終売や、離型フィルムの構成見直しによる一時的な減少の影響で、売上高は1,006百万円（前年同期比15.5%減）となりました。利益については、比較的高価格帯の貼付剤向けが好調であったことにより、売上総利益は231百万円（同11.7%増）となりました。

(その他)

機械販売のほか、連結子会社化した三国紙工株式会社の重包装関係が増加したことにより、売上高は944百万円（前年同期比109.8%増）、売上総利益は187百万円（同23.7%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,265百万円増加し、34,049百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が1,155百万円、電子記録債権が267百万円、たな卸資産が848百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,171百万円増加し、18,995百万円となりました。

固定資産につきましては、生産能力増強を目的とした設備投資等に伴い有形固定資産が85百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ93百万円増加し、15,054百万円となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,132百万円増加し、18,694百万円となりました。

流動負債につきましては、1年内返済予定の長期借入金が339百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が906百万円、短期借入金が106百万円、未払法人税等が236百万円、賞与引当金が155百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,029百万円増加し、16,005百万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が186百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ102百万円増加し、2,689百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,133百万円増加し、15,355百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が826百万円増加したことや、為替換算調整勘定が222百万円、非支配株主持分が115百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月29日に公表いたしました2022年2月期の連結業績予想について変更はございません。今後の新型コロナウイルス感染症の影響や経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,723,389	4,878,765
受取手形及び売掛金	7,963,960	7,879,337
電子記録債権	1,692,349	1,959,501
商品及び製品	1,998,233	2,538,662
仕掛品	367,224	503,793
原材料及び貯蔵品	839,592	1,011,119
その他	244,440	229,735
貸倒引当金	△5,557	△5,669
流動資産合計	16,823,633	18,995,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,932,018	6,327,328
機械装置及び運搬具(純額)	2,963,111	2,750,611
土地	3,140,388	3,140,388
その他(純額)	943,761	846,945
有形固定資産合計	12,979,278	13,065,273
無形固定資産	366,847	378,927
投資その他の資産		
その他	1,642,221	1,637,686
貸倒引当金	△27,145	△27,145
投資その他の資産合計	1,615,075	1,610,540
固定資産合計	14,961,201	15,054,741
資産合計	31,784,835	34,049,988

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,657,837	4,564,764
電子記録債務	3,622,878	3,609,639
短期借入金	4,826,012	4,932,742
1年内返済予定の長期借入金	1,038,827	699,128
未払法人税等	250,750	486,916
賞与引当金	222,966	378,869
その他	1,356,629	1,333,037
流動負債合計	14,975,902	16,005,098
固定負債		
長期借入金	1,818,362	2,005,280
退職給付に係る負債	230,172	210,528
その他	538,282	473,937
固定負債合計	2,586,816	2,689,747
負債合計	17,562,718	18,694,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057,468	1,057,468
資本剰余金	1,158,408	1,158,408
利益剰余金	10,360,425	11,186,935
自己株式	△1,101	△1,101
株主資本合計	12,575,200	13,401,710
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,478	109,940
繰延ヘッジ損益	△2,382	587
為替換算調整勘定	275,793	498,349
退職給付に係る調整累計額	5,924	921
その他の包括利益累計額合計	418,812	609,798
非支配株主持分	1,228,103	1,343,633
純資産合計	14,222,116	15,355,141
負債純資産合計	31,784,835	34,049,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	26,711,162	30,487,894
売上原価	22,438,126	25,052,700
売上総利益	4,273,036	5,435,193
販売費及び一般管理費	2,881,492	3,377,243
営業利益	1,391,543	2,057,950
営業外収益		
受取利息	1,406	4,357
受取配当金	9,880	9,744
持分法による投資利益	2,373	—
受取地代家賃	21,060	24,906
為替差益	—	101,870
その他	97,872	133,458
営業外収益合計	132,593	274,337
営業外費用		
支払利息	53,913	46,690
為替差損	25,256	—
その他	23,880	39,724
営業外費用合計	103,051	86,414
経常利益	1,421,085	2,245,873
特別利益		
固定資産売却益	449	—
負ののれん発生益	227,983	—
特別利益合計	228,433	—
特別損失		
固定資産売却損	104	—
固定資産除却損	11,627	1,789
減損損失	—	29,490
特別退職金	—	128,496
段階取得に係る差損	99,206	—
特別損失合計	110,938	159,775
税金等調整前四半期純利益	1,538,581	2,086,098
法人税等	385,392	701,518
四半期純利益	1,153,188	1,384,579
非支配株主に帰属する四半期純利益	50,451	84,079
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,102,737	1,300,500

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	1,153,188	1,384,579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,084	△29,845
繰延ヘッジ損益	△6,988	5,823
為替換算調整勘定	△20,805	255,084
退職給付に係る調整額	△4,853	△5,002
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,377	—
その他の包括利益合計	2,059	226,059
四半期包括利益	1,155,248	1,610,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,104,838	1,491,485
非支配株主に係る四半期包括利益	50,409	119,153

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて重要な変更はありません。